

特別展 アラベスク模様の世界

中近東・イスラムの祈りと幻想

色絵唐草文地シムラフ形タイル イラン 14世紀 55×54cm

2000年8月1日(火) — 9月24日(日)

渋谷区立松濤美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL 03-3465-9421
JR渋谷駅下車 徒歩15分
京王井ノ頭線 神泉駅下車 徒歩5分

休館日 毎週月曜日/8月7日・14日・21日・28日 9月4日・11日・18日
開館時間 午前9時—午後5時(入館は4時30分まで)
入館料 一般300円(240円)/小中学生100円(80円)

※()内は10名以上の団体料金 65歳以上の方及び障害者の方は無料 第2、第4土曜日は小中学生無料

講演会 8月12日(土) 午後2時より
「イスラムの美術工芸 生活とデザイン」 龍谷大学教授 杉村 棟氏



青釉色絵金彩花文把手付壺 イラン 13—14世紀
中近東文化センター蔵



黄地多彩鳥文鉢 イラン・ニシャプール 9—10世紀
愛知県陶器資料館蔵



多彩植物文地ペルシャ文字文皿 イラン又は西トルキスタン
18世紀 岡山市立オリエント美術館蔵



星形花文パイルカーペット コーカサス 19世紀
国立民族学博物館蔵(部分)



人物文タイル イラン・クバチャ
17—18世紀 シルクロード研究所蔵



ラスター彩星花文型壁面タイル
世界のタイル博物館蔵(常滑市)



スペイン アルハンブラ宮殿のミルト(天人花)の中庭 (並河萬里氏 撮影写真 島根県並河萬里 写真財団提供)

マホメットによって創始されたイスラム教は、紀元7世紀アラビア半島の一角から急速にシリア・イラクを中心とした中近東一帯に広まりました。西方は現在のスペイン、そしてモロッコ、チュニジア、エジプトなどの北アフリカ諸国から東方は、イラン、アフガニスタン、インド北西部へと拡大していったのです。中世から近世にかけて、高度な文化を保持していたイスラム世界はヨーロッパへも多大な文化的影響を与えましたが、その間トルコ、中央アジア、そして東はインドネシアにまで波及しました。現在は中央アフリカそしてアメリカにまで広がっており、最も活力に溢れた生きた宗教として大きな影響力を現代社会に日々及ぼしています。イスラム教では神の姿を人間や動物によって表現することを禁じました。その為、植物や幾何学模様などを中心とした装飾デザイン活動が非常に発達したのです。これは、絵画や彫刻によって、人間像を中心とした図像表現を発達させてきた西洋世界とは、際立った対称をなしています。このようにモスクなどの建築の壁面装飾にはアラベスクと呼ばれる模様で埋め尽くされるようになりました。アラベスクとは原義はアラブ風という意味で狭義には幾何学的な唐草や蔓などの植物模様で構成された模様デザインのことです。しかし、偶像表現の禁止とはいってもイスラム美術の中でも人間や動物の描写が全くなくなったわけではありませんでした。陶器など日常使用する工芸品やミニアチュールなどの写本絵画などには、生き物の姿がアラベスク模様の中や独立した形で自由に描かれています。本展ではアラベスクをイスラムの装飾美術と広く捉えて、さまざまなジャンルの工芸美術作品の中から人間描写をも含んだ装飾デザイン作品を多数紹介します。

並河萬里氏のイスファハン、トプカプ宮殿、アルハンブラ宮殿の写真作品約30余点でイスラムの建築装飾を紹介。イランのラスター彩やトルコのイズニーク陶器など各種のイスラム陶器約80点のほか様々なタイル作品70点を中心にカーペット約20点などの染織品を加えて構成します。今回は、幾何学模様、動植物模様などの他に、これまで本格的に紹介されることのなかった文字模様にも焦点をあてます。コーランを著したアラビア語は神の言葉として神聖視されました、アラベスク模様の中で、初期の力強いクーヒー体や優美なナスヒー体などと呼ばれる様々な美しい書体で描かれた文字模様やイスラム書道は独自の美的世界を形成しています。アラビア文字やペルシャ文字でデザインされた陶器、タイルなどを紹介します。

更に、二階サロン・ミュージゼに現代日本作家によるアラベスク関連作品を陳列します。ラスター彩を現代に復興させた加藤卓男氏の陶芸作品、アラベスク模様やアラビア文字を独自の感性で漆芸作品その他に造形デザインした故吉田左源二氏作品、アクリル絵の具でアラビア書道を現代アートとして表現している本田孝一氏の作品など、日本の美意識でイスラム美術を融合展開した諸作品を紹介し、イスラム美術の世界的なひろがりやイスラム世界のダイナミズムを理解していただきたいと思います。

本展はイスラムの建築写真、陶磁器、タイル、カーペット、写本、現代書道作品など200点余の関連作品を陳列して、アラベスク模様によるイスラム美術の華麗で幻想的な様式美の世界を鑑賞していただきます。

講演会

8月12日(土) 午後2時より
「イスラムの美術工芸 生活とデザイン」
龍谷大学教授 杉村 棟

ギャラリートーク

9月6日(水) 午後1時より
当館主任学芸員 福井泰民

美術相談会

8月5日(土) 午後2時より
内山 懋(油絵) 北尾和子(水彩)
9月16日(土) 午後2時より
宮田翁輔(油絵) 大和屋蔵(水彩)

美術映画会

8月26日(土) 午後2時より
NHKシルクロード 砂漠とコーラン
9月3日(日) 午後2時より
NHKシルクロード
草原の王都 —サマルカンド・ブハラ—

案内図

